

第 2 4 期 事 業 報 告

1. 営業の概況

(1) 営業の経過及び成果

当社が設置した富山西インターチェンジは、供用開始から16年が経過し、周辺地域から高速道路へのアクセス、物流の効率化、文化・観光の振興、広域医療の推進など地域の発展に大きく寄与しているところであります。

平成31年3月31日現在、インターチェンジ周辺開発事業である金屋企業団地の分譲率は61.6%、また呉羽南部企業団地では1社から当期に土地の購入があり、47.9%となっております。

富山市では、第2期呉羽南部企業団地を造成しているところであり、平成31年2月から分譲受付が開始されております。

また、インターチェンジ建設負担金預り金につきましては、今後、富山市からの借入金返済に充当してまいります。

なお、インターチェンジ建設負担金は、現在造成中の区画の入居企業や定期借地入居企業の用地買取りにより納められる見込みです。

(2) 対処すべき課題

富山市からの借入金残額は721,731千円となっており、償還金の財源である建設負担金預り金の確保のため、富山市に対して、定期借地による入居企業に対する用地買取りの働きかけを求めてまいります。

(3) 企業団地への入居に伴うインターチェンジ建設負担金預り金の状況

	第22期まで	第23期	第24期	計
一括分譲	734,318千円	24,265千円	19,410千円	777,993千円
割賦分譲	17,496千円	0千円	0千円	17,496千円
借地	632,939千円	44,756千円	36,567千円	714,262千円
計	1,384,753千円	69,021千円	55,977千円	1,509,751千円